

孫の手通信



第32号

平成26年9月14日

玉川孫一郎と歩む会

TEL/FAX: 0475 (47) 3014

<http://magoichiro.blog47.fc2.com/>

6月議会から

6月18日に開催された第2回一宮町議会定例会は補正予算の他全ての議案を可決して閉会しました。補正予算の主な内容をお知らせします。

平成26年度一般会計(第2次)補正予算

補正額 1765万2千円

○新庁舎建設事業 626万4千円

正面玄関の雨除け屋根の変更や庁舎周りの舗装等の工事費です。

○矢畑区コミュニティ助成事業 170万円

矢畑区の自主防災組織が災害に備えて整備する避難テントや発電機等の費用を助成します。

○海水浴場障害者用多目的トイレ借り上げ 45万4千円

海水浴場に障害者のための多目的トイレを設置します。

○おむつ用ごみ袋配布事業 48万円

子育て家庭を支援するために2歳児未満の乳幼児一人につき年間50枚の広域組合指定可燃袋(20リットル)を配布します。

○働く女性支援のためのがん検診推進事業 97万1千円

乳がん、子宮がんの未受診者への受診を勧奨します。

○就農・育成給付金事業交付金 225万円
新規就農者を育成するために交付金を支給します。

○一宮小学校給食室改修工事 194万4千円

人権擁護委員の推薦同意

人権擁護委員に小川正美さん(15区)を推薦することに議会の同意をいただきました。任期は3年間です。

一宮海岸広場の整備

旧国民宿舎一宮荘の解体後、県の補助金を活用することにより跡地に公衆トイレと駐車場を備えた一宮海岸広場を整備してきました。

本年度は、「大塚実海と緑の基金」を活用することにより芝生広場とステージ、築山、そして小さな子供のための遊具を整備します。これで町民と観光客の憩いと交流の広場が完成します。

愛光保育園の建て替え

一宮町には町立私立合わせて4か所の保育所があり、4月1日現在定員300人のところ374人の児童が入所しています。その入所率は124%となっており、途中入所の希望数を合わせると年度中に130%を超える見込みです。今後とも共働き世帯の増加等により保育需要の拡大が見込まれ、待機児童が発生することも危惧されるため、このような定員超過を早急に解消し、安心して保育できる環境を整える必要があります。また愛光保育園は比較的新しい施設ですが、付近には高台が無いため津波が起きた場合の避難場所を確保できない環境にあります。

ちようど今年度に限り、待機児童解消のため緊急整備を行う私立の保育所向けの有利な補助金が設けられたことから、

町立の保育所に先んじて施設の整備を行うことになりました。この補助金を活用することにより、事業者だけでなく町にとってもより少ない負担で保育環境の充実を図ることが可能となります。建て替え後は現在60人の定員が80人に増員され、2階建て園舎には地域住民も収容できる避難場所が備えられます。

現在は来年4月のオープンに向けて工事が順調に進められています。

農業委員会の改選

一宮町農業委員会の改選が7月に行われ、一宮町初の女性委員となる井桁繁さんが議会推薦により選出されました。

農業委員会は農業の発展と農民の地位の向上のために法律で市町村に置くことが義務付けられている行政機関で、農地転用や農地の売買などの審査を行っています。農業従事者の選挙で選出される選挙委員と市町村長が選任する選任委員から構成され、任期は3年間です。一宮町の場合、11人の選挙委員に加えて農協、農業共済組合、土地改良区からそれぞれ推薦された3名の選任委員、そして町議会から推薦された2名の学識経験を有する委員という構成になっています。

一宮町の政務活動費

地方議会の政務活動費のあり方への関心の高まりから一宮町の状況についてご質問をいただくことが多いため、ご説明いたします。

政務活動費は地方自治法に基づき議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付するものです。また交付額や交付方法については条例で規定されており、自治体によってそれぞれ異なります。

一宮町では条例により県内で最も低い金額である月額1千円を交付することと定められています。しかし実際には議会からの申し出により、平成21年以降政務活動費を町の予算に計上しておりませんので、政務活動費は0円となっています。

